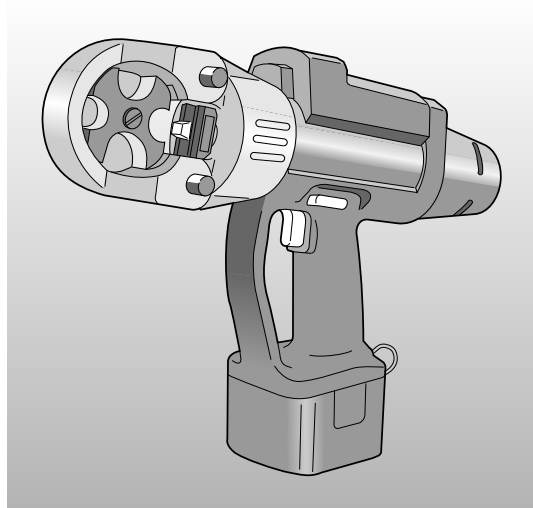


取扱説明書

充電 圧着器<プロ用>

品番 EZ3902N22K



- このたびはパナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意.....	2～5	ご使用前に
各部のなまえ.....	6	
・付属品・別売品.....	7	
ご愛用者登録について.....	7	
充電のしかた.....	8～9	使いかた
使いかた		
・準備.....	10	
・作業.....	12	
・使い終わったら.....	14	
お手入れ・保管.....	15	お手入れ・保管
電池パックについて.....	16	お知らせ
能力.....	17	
仕様.....	17	
故障かな?と思ったとき.....	18～19	点検方法
保証とアフターサービス.....	裏表紙	



便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品番	EZ3902N22K
	販売店名	☎ () —		

安全上のご注意

※ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険 人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意 人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される場合。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

危険

- 当社充電工具専用の指定の充電式電池パック以外を使わないでください。改造した電池パック（分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む）も使用しないでください。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしないでください。
- 電池パックは分解・改造をしないでください。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させないでください。
- 電池パックを釘などの金属と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 劣化した電池パックは使用しないでください。
 - 発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 電池パックは専用充電器以外では充電しないでください。
 - 電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付けてください。
 - 取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

警告

- 正しく充電してください。
 - この充電器は定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。
 - 温度が0℃未満、または40℃以上では電池パックを充電しないでください。
 - 電池パックは、換気の良い場所で充電してください。電池パックや充電器を充電中、布などで覆わないでください。
 - 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- 電池パックの端子間を短絡させないでください。
 - 電池パックを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 感電に注意してください。
 - ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
- 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 充電工具、充電器、電池パックは、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用したり、充電しないでください。

警告

- 保護めがねを使用してください。
 - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
 - 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます。
- 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、電池パックを本体から抜いてください。
 - 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他危険が予想される場合。
- 不意な始動は避けてください。
 - スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電池パックを差し込む前にスイッチが切れていることを確認してください。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のは使用しないでください。
- 電池パックの液が目に入ったらただちにきれいな水で充分洗い、医師の治療を受けてください。
- 使用時間が極端に短くなった電池パックは使用しないでください。

注意

- 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
- 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
 - 充電工具や電池パックを、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。
- 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - モータがロックするような無理な使いかたはしないでください。
- 作業に合った充電工具を使用してください。
 - 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれるおそれがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

ご使用前に

⚠️ 注意

- | | |
|---|---|
| <p>7. 充電工具は、注意深く手入れしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。 ●付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。 ●充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ●延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。 ●握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。 | <p>13. 損傷した部品がないか点検してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。 ●可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。 ●電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。 ●破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。 ●スイッチで始動、および停止操作のできない充電工具は、使用しないでください。 |
| <p>8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。 ●コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。 ●コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。 | <p>14. 充電工具の修理は、専門店で依頼してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●サービスマン以外の方は充電工具、充電器、電池パックを分解したり、修理・改造は行わないでください。 ●充電工具が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。 ●この製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。 ●修理は、必ずお買い求めの販売店にお申し付けください。修理の知識や技術のないかたが修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。 |
| <p>9. 無理な姿勢で作業をしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。 | <p>15. 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。 |
| <p>10. 調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取り外してあることを確認してください。 | |
| <p>11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。 | |
| <p>12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●充電工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。 ●常識を働かせてください。 ●疲れている場合は、使用しないでください。 | |

先に充電工具安全上の注意をのべましたが、充電圧着器として、さらに次にのべる注意事項を守ってください。

⚠️ 警告

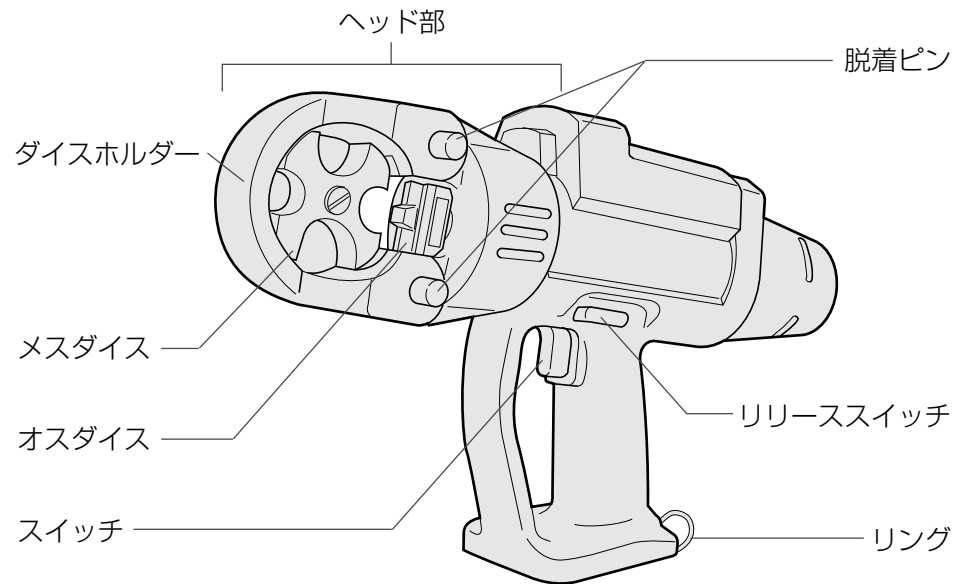
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●ヘッド部を人に向けるような使用はしないでください。けがのおそれがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●動作中は圧着部に触れないでください。指がはさまれ、けがのおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●2本の脱着ピンはダイスホルダーと本体に確実に差し込んでください。ダイスホルダーや本体が破損し、けがのおそれがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●2パック以上の連続作業はしないでください。本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●通電中の電線には圧着しないでください。感電のおそれがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●指定の端子・スリーブ(P10参照)以外には使用しないでください。圧着不良で火災などのおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●高所作業のときは下に人がいないことをよく確かめてください。材料や本体などの落下による、事故のおそれがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ピストンロッド部の圧着完了ラインが完全に見えるまで操作を行ってください。圧着不良で火災などのおそれがあります。 |

⚠️ 注意

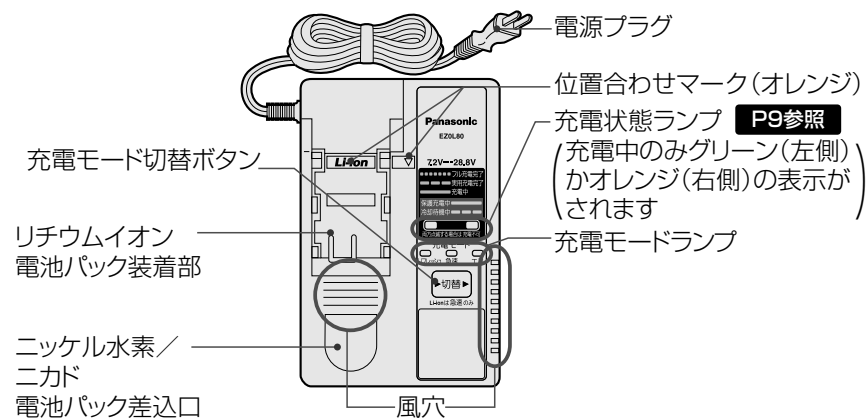
- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ●ダイスやダイスホルダー等は取扱説明書に従って確実に取り付けてください。本体の破損やけがのおそれがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●使用中は軍手など巻き込まれるおそれがある手袋を着用しないでください。可動部に巻き込まれ、けがのおそれがあります。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ●ダイスホルダー開閉時にダイスホルダーと本体の間に指をはさまないように注意してください。けがのおそれがあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ●メスダイスを回転させるときは指のはさみこみに注意してください。けがのおそれがあります。 |

使用前に

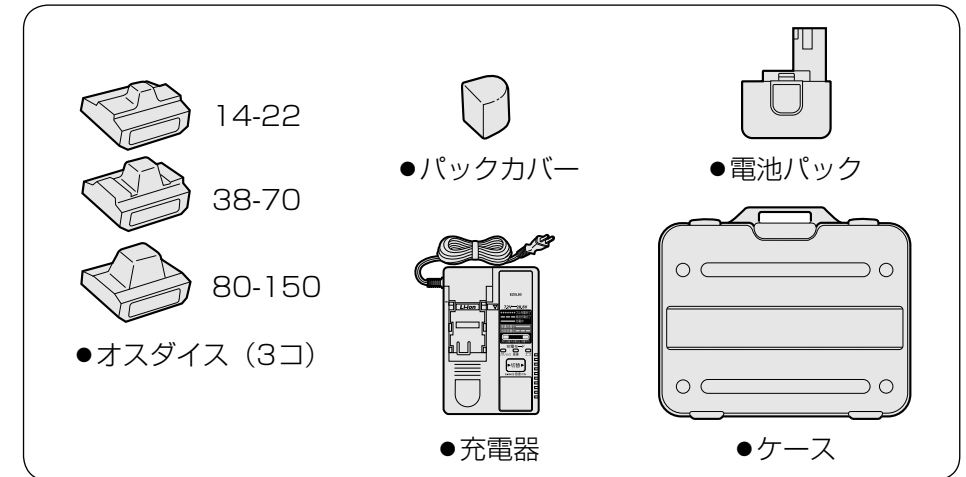
本体



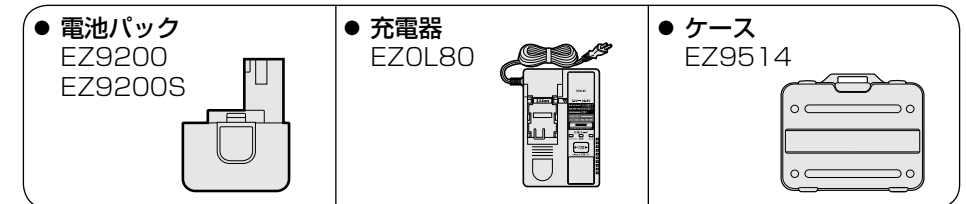
充電器



付属品



別売品



パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic

Pana Sense

<http://club.panasonic.jp/mall/sense/>

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理! エンジョイポイントをためてプレゼントに応募!

PC <http://club.panasonic.jp/>

携帯 <http://mobile.club.panasonic.jp/>



※ご愛用者登録には、CLUB Panasonic 会員への登録が必要です。
※登録時は、商品の品番を事前にご確認ください。
※このサービスは WEB 限定のサービスです。

ご愛用者登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の 6 桁の数字を入力してください。

432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。

※他の製品をご登録の場合、WEB サイトをご参照ください。

警告

- 雨中では使用しないでください。感電や発煙のおそれがあります。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しないでください。発煙、発火のおそれがあります。

お知らせ

- 充電器は冷却ファンで電池を冷やしながら充電します。電池パックを充電器に差し込むと、ファンによる送風が始まり、充電が完了すると送風量が少なくなります。
- 電源プラグを抜いた後も充電モードランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。
- 冷えた電池パック(0℃以下)を暖かい場所で充電するときは電池パックを約1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。裏表紙参照

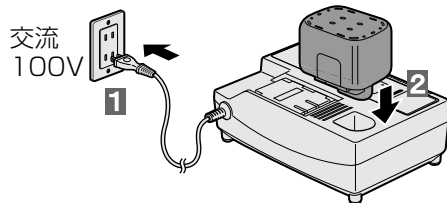
お願い

- 0~40℃の場所で充電してください。
 - 〈気温が0℃以下の場合〉
 - ・寒冷地などで0℃以下に冷えた電池パックは正常に充電できません(特にリチウムイオン電池の場合フル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)。このときは電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
 - 〈気温が40℃以上の場合〉
 - ・直射日光、夏期のアスファルトの上など周囲温度が高い場所で充電しても電池パックの温度が45℃以下にならないと電池保護のため充電を開始しないことがあります。
- 電池パックや充電器の風穴をふさがないでください。
- 2パック連続で充電したときは、充電器のご使用を約30分休止し、充電器を十分放熱させてからご使用ください。
- 充電器のニッケル水素/ニカド電池パック差込口に手を入れないでください。端子の変形や故障の原因となります。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

1 コンセントに電源プラグを差し込む

- 充電モードランプのうち、いずれか1つが点灯します。

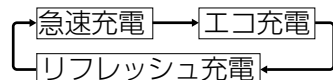


ニッケル水素電池やニカド電池の場合

- お買い求め時は、電池パックの活性化のため必ずリフレッシュ充電をしてください。

2 電池パックを差し込み約30秒以内に充電モードを選ぶ

- メーカー出荷時、充電モードは急速充電に設定されています。
- 充電モード切替ボタンを押すと順次切り替わります。



- 充電モードは電池パックを充電器に差し込んでから約30秒後に確定(記憶)*されます。確定後、充電モードを切り替える場合は、電池パックを一度抜き差ししてください。
 - 充電モードを選ばないと前回の充電モードで充電されます。(リフレッシュ充電を除く)
- ※リフレッシュ充電を選択した場合や充電モード確定前に電源プラグを抜いた場合は記憶されません。

3 充電後は電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

充電状態ランプの見かた P6 参照

点灯 遅い点滅 早い点滅 消灯

充電状態ランプ		充電状態
グリーン	オレンジ	
点灯	消灯	充電中
遅い点滅	消灯	実用充電完了 (リチウムイオン電池のみ)
早い点滅	消灯	フル充電完了
消灯	遅い点滅	電池保護 充電中
消灯	早い点滅	冷却待機中
早い点滅	早い点滅	充電不可

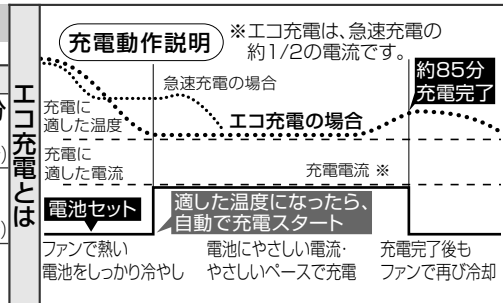
電池保護 充電中
・電池パックの温度が低いとき、2ヵ月以上使用していなかったとき
▶ 電流を下げて電池パックにやさしく充電します。(特にリチウムイオン電池の場合0℃以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)

冷却待機中
・電池パックの温度が高いとき
▶ 電池パックを冷却しています。冷却待機中は充電を行いません。

充電不可
・電池パック差込口のゴミづまり
▶ 電源プラグを抜いてからゴミを取り除いてください。
・電池パックの故障
▶ 別の電池パックに交換してください。

充電モードについて

充電モード	充電時間
エコ充電 電池にやさしくゆっくり充電	約 45 ~ 85 分 (EZ9200 EZ9200Sの場合)
急速充電 電流を制御しながら短時間で充電	約 22 分 (EZ9200 EZ9200Sの場合)
リフレッシュ充電	約 12 時間以内

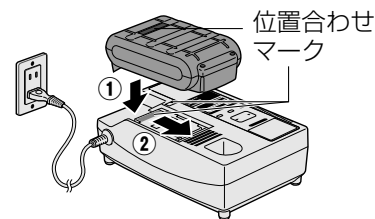


リチウムイオン電池パックの場合

- お買い求めのときはフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

2 電池パックを充電器に装着する

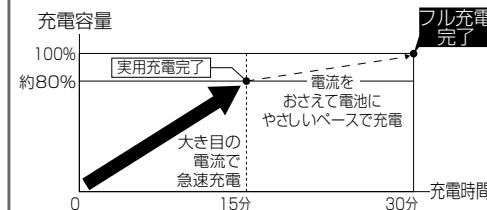
- ① 位置合わせマークを合わせて差し込む
- ② 底に当たったら矢印の方向に引く



- 充電モードランプは「急速」が点灯します。(リチウムイオン電池パックの充電モードは「急速」のみです。切り替えはできません。)

- 充電状態ランプが充電状態を表示します。

実用充電とフル充電について



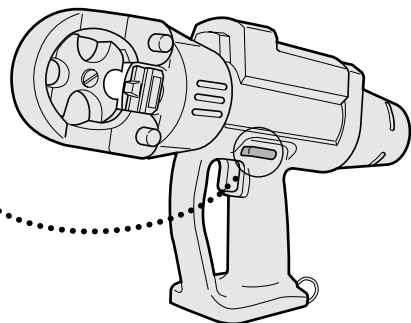
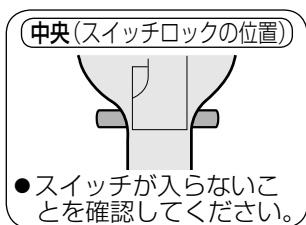
3 充電後は、電池パックをはずし、電源プラグをコンセントから抜く

使いかた(準備)

警告 ● 指定の端子・スリーブ以外には使用しないでください。
 圧着不良で火災などの原因になります。

● オスダイスとメスダイスのサイズの組み合わせは誤りのないようにしてください。
 接続性能上悪影響を生じ、また故障等の原因になります。

1 リリーススイッチを中央で止め スイッチロックの位置にする



2 圧着する端子・スリーブにより 適合ダイスを選定する

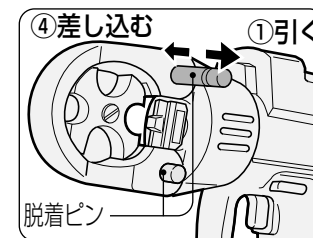
端子・スリーブとダイスの組み合わせ表
 ※下記以外の圧着端子・スリーブは使用できません。

適用電線 コネクタの呼び	JIS C 2805 銅線用裸圧着端子	JIS C 2806 銅線用裸圧着スリーブ		オスダイス	メスダイス
		直線突き合わせ用(B)	直線重ね合わせ用(P)		
14	○	○	○	14-22	14-38
22	○	○	○		
38	○	○	○	38-70	60-70
60	○	○	○		
70	—	—	○	80-150	80-100
80	—	○	○		
100	○	○	○		
150	○	○	○		150

警告 ● 2本の脱着ピンは、ダイスホルダーと本体に確実に差し込んでください。
 ダイスホルダーや本体が破損し、けがのおそれがあります。

3 オスダイスを取り付ける

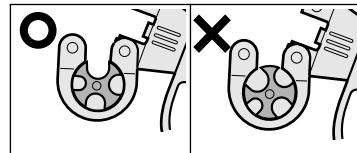
① 脱着ピンのどちらか一方を引き出しダイスホルダーを開く



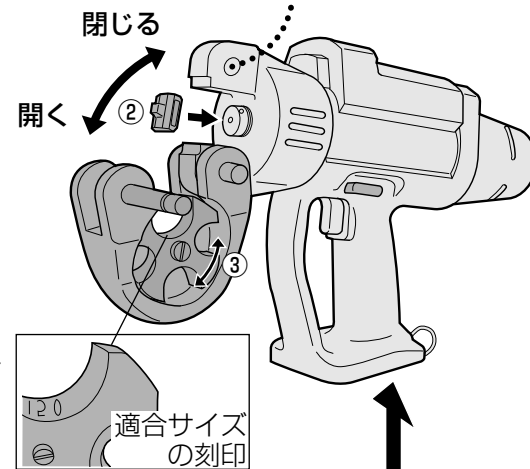
② オスダイスを本体に確実に差し込む



③ メスダイスを回転させ適合サイズに合わせる



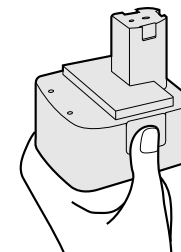
● ダイスホルダーが確実に閉じられるよう、メスダイスを正しい位置に調整してください。



④ ダイスホルダーを閉じて脱着ピンが突き当たるまで、確実に差し込む

4 電池パックを取り付ける

● 電池パックが本体に固定されるまで差し込んでください。





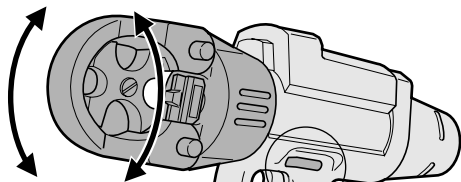
警告

- 動作中は圧着部に触れないでください。指がはさまれ、けがの原因になります。
- 通電中の電線には圧着しないでください。感電のおそれがあります。

- カラ押し操作(部材を入れない状態での圧着動作)はしないでください。本体の寿命に影響します。(本体を長くお使いいただくためにも定期点検以外はカラ押し操作はしないでください。)

1 ヘッド部を作業しやすい角度に調整する

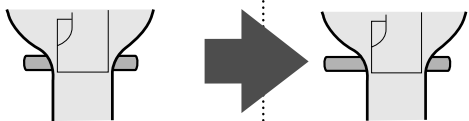
- ヘッド部を左右に回転させて調整してください。



2 リリーススイッチを「圧着」の位置にする

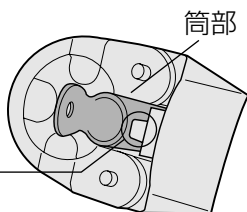
中央(スイッチロックの位置)

圧着



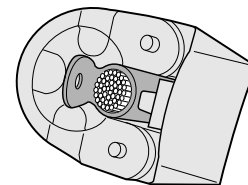
3 スイッチを軽く引き、端子・スリーブの仮押えをする

- オスダイスが端子・スリーブ筒部の中央にあたるように保持してください。



4 仮押えした端子・スリーブに電線を差し込む

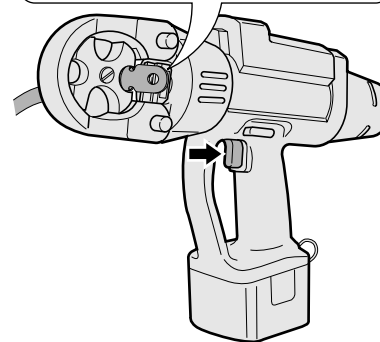
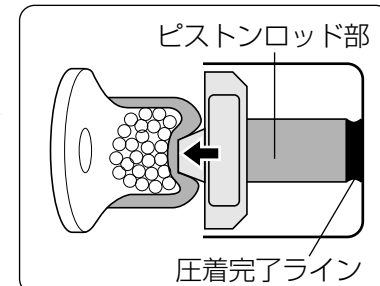
- 心線がわずかに見える位置まで差し込んでください。



5 スイッチを引き込み圧着を行なう

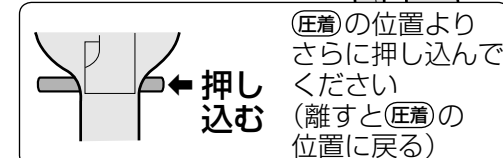
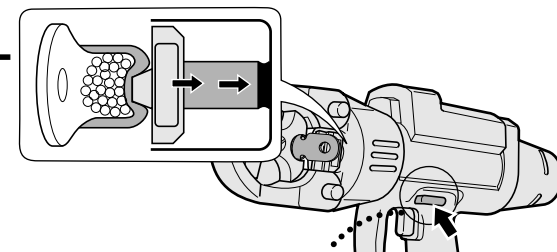
- ピストンロッド部の圧着完了ラインが見えれば圧着完了です。
- 圧着の途中では解除できません。圧着が完了するまで作業を行ってください。

操作を続けても圧着完了ラインが見えないときは、一旦作業を中止し電池パックを充電してください。充電後、作業を再開しても圧着完了ラインが見えないときは故障のおそれがあります。ただちに修理をご依頼ください。(裏表紙参照)



6 リリーススイッチを押し込みオスダイスを戻す

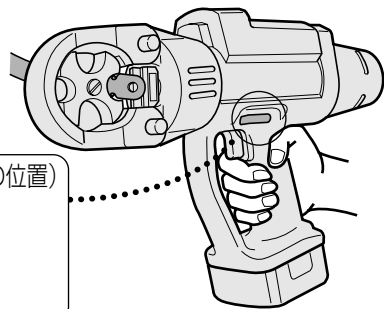
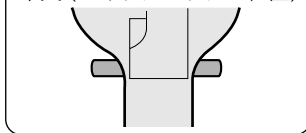
- オスダイスの動きが止まったらリリース完了です。リリーススイッチを離してください。
- リリーススイッチを押しても解除できない場合は圧着が完了していません。このときはさらに約1秒、圧着作業を行ってください。



「圧着」の位置よりさらに押し込んでください(離すと「圧着」の位置に戻る)

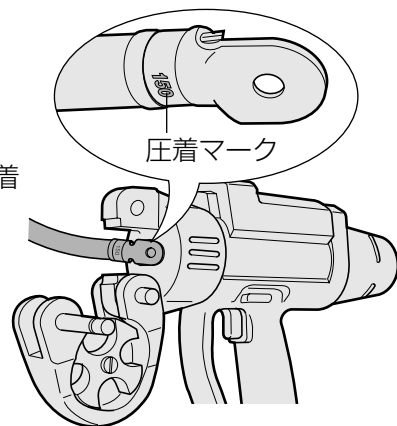
7 リリーススイッチを中央で止め スイッチロックの 位置にする

中央(スイッチロックの位置)



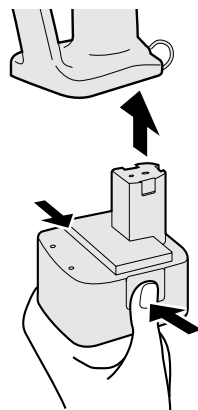
8 ダイスホルダーを開いて、 圧着した端子・スリーブを 取り出す

- 端子・スリーブの圧着部分には、圧着マークが表示されています。(ダイスホルダーの開閉方法はP11手順3を参照ください。)

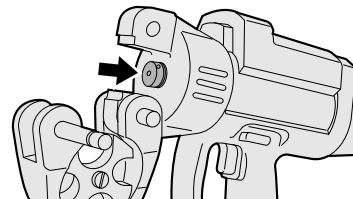


使い終わったら

1 フックを押しながら 電池パックを抜く



オスダイスを取りはずし 装着部内のゴミを取り除く

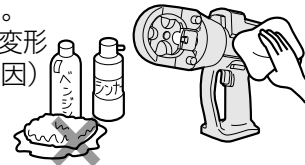


ダイス・脱着ピンを やわらかい布でふく



本体をやわらかい布でふく

- 濡れた布や、シンナー、ベンジンなど揮発性のものは使用しないで。(変色・変形する原因)

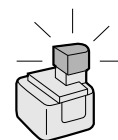


ニッケル水素電池パック は充電してから保管する

- 充電された状態で保管すると電池パックが長持ちします。

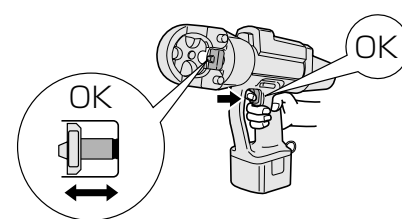
電池パックはカバーを 付けて

- 単品で保管時は、短絡を防ぐため付属のパックカバーをつけてください。



定期点検の実施

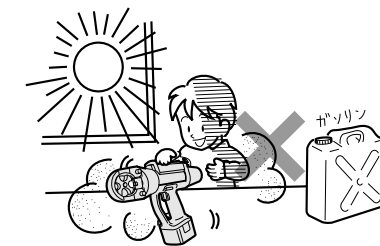
- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがなければ定期的に点検してください。



適切な場所で保管する

以下の条件を避けて保管してください。

- 車中などの高温場所
- 直射日光のあたる場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



⚠️ 危険

- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付け。取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

長持ちさせるために

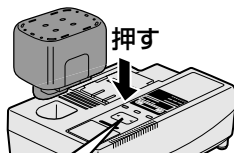
- ニッケル水素電池パックは、使用後フル充電してから保管してください。また、使いきる前に継ぎ足し充電してください。
- ニカド電池パックは、使い切ってから保管してください。
- 熱くなった電池パックは、十分放熱させてから充電してください。

リフレッシュ充電のお願い

(ニッケル水素、ニカド電池の場合)

- お買い求めのとき。
- 以前より作業量が減ったと感じたとき。
- 使用後、充電して保管したが、2ヵ月以上放置した電池を使用するとき。

性能回復のため、リフレッシュ充電をしてください。



▶ 切替 ▶ を押してリフレッシュ充電を選ぶ。(リフレッシュがグリーン点灯)



12時間以内にリフレッシュ充電完了。
エコ充電、急速充電中にリフレッシュ充電へ切り替えることはできません。

- 電池の状態に合わせて冷却ファンで電池を冷やしながらリフレッシュ充電を行なうためファンの回転数が途中で下がり、送風量が少なくなります。
- リフレッシュ充電をひんぱんに行なうと電池パックの性能を損なうおそれがあります。

お願い

- 一部のニカド電池パック(EZ9180/EZ9181/EZ9080)とリチウムイオン電池パックを同時に装着した場合どちらも充電されません。両方の電池パックを一旦はずして、再度一方の電池を装着してください。

電池パックの寿命

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したりリサイクル修理品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックを廃棄の際は買い求めの販売店へお返しください。(電池パックは短絡防止のため、必ずパックカバーを付けるか端子部に絶縁テープを貼ってください。)



本製品の使用電池

- 名称: 密閉型ニッケル水素蓄電池
- 公称電圧: 1.2V
- 数量: 10本

能力

1回のフル充電による使用能力(EZ9200、EZ9200S使用時 / 周囲温度20℃)

- 数値は目安です。蓄電池性能の経時変化、電線・端子・スリーブの種類により、多少変動します。

電線(CV線)サイズ(mm ²)	14	22	38	60	100	150
圧着スピード	約3秒/本	約4秒/本	約5秒/本	約5秒/本	約8秒/本	約9秒/本
圧着回数	140回	120回	110回	100回	70回	65回

※ 圧着スピードは仮押え後からの時間です。

仕様

本体	モータ電圧	DC12V	公称出力	93.2KN(9.5tonf)
	圧着範囲	14, 22, 38, 60, 70, 80, 100, 150mm ² (銅線用裸圧着端子およびスリーブ)		
	大きさ(概略寸法)	全長 全高 全幅※ 348 × 256 × 70(mm)	質量(重量)	約4.0kg(電池パック含む) ※電池パック装着部最大幅 86mm

充電器(EZOL80)

電源	AC100V 50/60Hz	消費電力	約198W	質量(重量)	約0.96kg
----	----------------	------	-------	--------	---------

充電可能な電池パック

※(S)の付く品番は、品番の末尾に「S」が付くタイプと付かないタイプの2種類があります。※充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。※エコ充電の充電時間は充電前冷却時間を含みます。※EZ9061は中間アダプターEZ0890(別売品)が必要です。※表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。※EZ9L31、EZ9L42は充電できません。	電池パックの種類	リチウムイオン電池	
	電池電圧	28.8V	EZ9L81
	充電時間	実用フル	約27分 約50分
	電池電圧	21.6V	EZ9L61
	充電時間	実用フル	約22分 約41分
	電池電圧	14.4V	EZ9L41
	充電時間	実用フル	約19分 約38分

電池パックの種類	ニッケル水素電池		ニカド電池			
	電池電圧	7.2V	EZ9168(S)	—	EZ9061・EZ9065 EZ9066	EZ9165
電池電圧	9.6V	EZ9188(S)	—	EZ9080・EZ9086	—	EZ9186・EZ9187
	12V	EZ9108(S)	EZ9200(S)	EZ9001・EZ9006	EZ9101	EZ9106・EZ9107
充電時間	急速	約15分	約22分	約9分	約12分	約15分
	エコ	約30~70分	約45~85分	約20~60分	約25~65分	約30~70分
電池電圧	15.6V	EZ9230(S)	—	EZ9136・EZ9137	—	—
充電時間	急速	約27分	—	約16分	—	—
	エコ	約45~85分	—	約30~70分	—	—
電池電圧	24V	EZ9210(S)	—	EZ9116・EZ9117	—	—
充電時間	急速	約30分	—	約20分	—	—
	エコ	約45~85分	—	約30~70分	—	—

	症 状	考えられる原因
充 電 時	充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	▶ フル充電を検知するのに時間がかかるため。
	充電中、テレビ・ラジオに雑音が入る。	▶ 高周波で制御しているため。
	電池パックを差し込んで充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	▶ 充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。
	充電中に冷却待機中の状態になる。(オレンジ色のランプが遅く点滅)	▶ 電池パックが熱くなっている。
作 業 時	動かない。 または動いてもすぐ止まる。	▶ 電池パックを充電していない。 ▶ 電池パックと本体の接点部にゴミが付着している。
	フル充電しているのに作業スピードが遅い。	▶ 温度が低い場所(0℃以下)で保管した本体・電池パックを使用した。
	スイッチをきると、停止音がする。	▶ ブレーキの動作音です。
	充電しても圧着回数が少ない。	▶ ダイス・ダイスホルダー等に消耗など不具合がある。
		▶ 電池パックの寿命。
		▶ 冷えた電池(0℃以下)を暖かい場所で充電した。
	▶ 電池パックを2ヵ月以上放置していた。あるいは購入したばかりである。	
	▶ メスダイス刻印部にゴミが付着している。	
▶ 圧着完了ラインが完全に見えない。		
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに差し込んだとき「充電モード」ランプのいずれかが点灯しない。 ● 充電器に電池パックを差し込んだとき冷却ファンが送風を始めない。 ● 充電開始直後に「充電モード」ランプも「充電状態」ランプも点灯・点滅しない。 ● 「冷却待機中」(オレンジ:遅い点滅)後、1時間以上しても「充電中」(グリーン:点灯)にかわらない。 ● 「充電中」(グリーン:点灯)後、1時間以上充電しても「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 ● 「リフレッシュ充電」を開始した後、13時間以上充電しても「充電状態」ランプが「フル充電完了」(グリーン:速い点滅)にならない。 	

処 置
▶ そのまま放置してください。しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
▶ 別のコンセントで、充電するか、テレビ・ラジオから離して充電してください。
▶ ゴミを取り除いてください。
▶ 周囲温度が0~40℃の場所で充電してください。0~40℃の場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。冷めると自動的に充電を開始します。
▶ 充電をしてください。
▶ ゴミを取り除いてください。
▶ 再度充電し、充電完了になってからご使用ください。
▶ 故障ではありません。
▶ 修理をご依頼ください。 裏表紙参照
▶ 新しい電池パックをお買い求めください。 P7参照
▶ 電池パックを10℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで再度充電してください。
▶ リフレッシュ充電を行なってください。 P16参照
▶ ゴミを取り除いてください。
▶ 充電をしてください。

左記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

- 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

愛情点検



長年ご使用の充電圧着器の点検を

こんな症状はありませんか?

- ・ 本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。
- ・ 充電器のコードが損傷している。
- ・ 動作中に異常な音がある。

お願い

故障や事故防止のために使用を中止し、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずして必ず販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理 などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは
18～19ページの表でご確認のあと、直らないときは、
まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の
内容をご連絡ください。

●製品名	充電圧着器
●品番	EZ3902N22K
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、
製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体・充電器6か月間(ただしディスプレイ・電池パック・ケースは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用 **部品代** 部品および補助材料代 **出張料** 技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電圧着器の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。<http://panasonic.co.jp/cs/>

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

●修理に関するご相談は……………

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時
フリーダイヤル  **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「550 #」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**
■FAX フリーダイヤル  **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open: 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

ナビダイヤル  ハイ 365日
(全国共通番号) **0570-081-365**
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
365日/受付9時～20時

●携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などのご利用は
大阪 ☎06-6906-1090
札幌 ☎011-261-6401 名古屋 ☎052-551-7900
東京 ☎03-5392-7190 福岡 ☎092-622-0531

パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>
インターネットでのご依頼も可能です。

※ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※☎印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます。ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社

パワー機器ビジネスユニット

〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

© Panasonic Corporation 2013